

クラシックのエントランス

すぐ目の前、
手が届くところにある
感動と発見。
ファンはもちろん、
苦手な貴方にもお勧めの
クラシック音楽入門篇。

Chapter
16
2004
2/1
日

■開場 13:30 ■開演 14:00

Chapter
17
2004
3/14
日

■開場 13:30 ■開演 14:00

G線上のヴィーナース

礒絵里子 (ヴァイオリン)

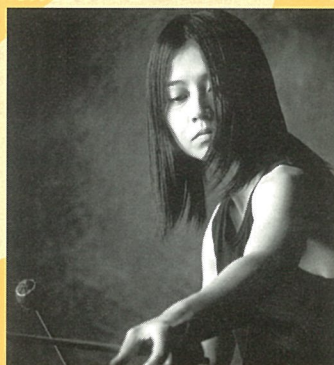


(ピアノ)
佐々木京子

卓越した技術と多彩な表現力、そして美しさを兼ね備え、そうそうたる世界的オーケストラや指揮者と互角に渡り合う若きヴァイオリニスト、礒絵里子。右手に弓を構えた瞬間、凜とした空気が彼女を包み、その「美的音楽空間」の中で紡ぎ出される弦の音色の美しさはすべての人の心を虜にします。

●1月31日①19:00～ 礒絵里子+佐々木京子 ヴァイオリンワークショップ
「ヴァイオリンとは何ぞや?」「どうしたら巧く弾けるの?」など、皆さんの興味と疑問に楽しいトークと実演でヴァイオリンの魅力を紐解く90分。お申し込みはお電話で。参加費は300円、公演チケットをお持ちの方は参加無料、受付でご提示下さい。

加藤訓子 (パーカッション)



地球の鼓動、 ガイアのリズム

「クラシックのエントランス」初のパーカッション・コンサートは、アメリカから「来日」の加藤訓子。大地の息吹、地球の鼓動を、マリンバをはじめ自然のさまざまな楽器を使って表現します。美しく華奢な腕から繰り出される、太古の昔から育んできた人間のリズムと音感……この日、大地の女神「ガイア」がマルチホールに降臨します。

●3月13日①19:00～ 加藤訓子 打楽器 ワークショップ
今まで見たこともないような楽器を使って、リズムの楽しさ・ビートのカッコ良さを思い知る90分。腕に覚えのある方はマイスティック、マイマレットを持ってお越し下さい。お申し込みはお電話で。参加費は300円、公演チケットをお持ちの方は参加無料、受付でご提示下さい。

黒部市国際文化センターコラーレ (マルチホール)

全席自由
珈琲・紅茶付

〈各 回〉 一般:2,000円 高校生以下:1,000円
〈2回通し〉 一般:3,000円 高校生以下:1,500円

主催/財団法人黒部市国際文化センター
後援/黒部市・黒部市教育委員会・黒部市社会福祉協議会

■この公演は黒部市の助成により低料金に設定しております。
■5歳未満のお子様のお入りはご遠慮願います。■公演中の一時保育(無料)を希望される方は事前にご連絡下さい。

●お問い合わせ・チケットの申込み

コラーレ 富山県黒部市三日市20番地 TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207
http://www.colare.jp/ e-mail:info@colare.jp
開館時間:9:30~22:30(土曜~23:00) / 毎週水曜休館

プレイ
ガイド

(黒部市) コラーレ ☎0765(57)1201
メルシー ☎0765(54)2221
(魚津市) 新川文化ホール ☎0765(23)1123
魚津サンプラザ ☎0765(24)3030
(入善町) コスモホール ☎0765(72)1105
コスモ21 ☎0765(74)9100
(宇奈月町) 宇奈月国際会館 ☎0765(62)2000
(朝日町) アスカ ☎0765(82)2000
(滑川市) サン・アビリティーズ ☎076(475)3342
(富山市) インフォマート[市民プラザ] ☎076(491)0110
[CIC駅前店] ☎076(444)7013
(婦中町) アルプラザ富山(ファホール内) ☎076(466)1828
(高岡市) 高岡大和 ☎0766(27)1774

Chapter
16

2004
2/1
日

■開場
13:30

■開演
14:00

G線上のヴァイナス

磯 絵里子 (ヴァイオリン)

ISO Eriko

桐朋学園大学卒業後、イゴール・オISTRAフ氏に招かれ、ブリュッセル王立音楽院に文化庁芸術家在外派遣研修員として留学、修士課程大賞を受賞し、首席修了。マリア・カナルス国際音楽コンクール、日本音楽コンクール他、国内外の数々のコンクールで入賞を果たす。ソリストとして東京シティフィル、札幌、日フィル、フレミッシュ放送響、名フィル、ブラハ室内管、チェコフィル等、内外のオーケストラと共演し好評を博す。「パワーのあるテクニックと高度な集中力を兼ね備えた非凡な才能を認識させる若手の出現」と評され、様式感としなやかな歌声に溢れたシャープな音楽性が聴衆を魅了している。

サントリーホールでの小林研一郎指揮・日本フィルとの「シベリウス：ヴァイオリン協奏曲(02)」「ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲(03)」の共演、紀尾井ホールでのリサイタル等、高い評価を得、若手演奏家世代の一翼を担う実力派ヴァイオリニストとして、宮崎国際音楽祭、サイトウ・キネン・オーケストラ、スイス・ヴェルビエ音楽祭他、国内外の演奏会やテレビ・ラジオに多数出演。平成14・15年度公共ホール音楽活性化事業登録アーティストとしても、各地の小中学生や地域住民とのふれあいコンサート等、潜在的聴衆へのクラシック音楽の普及に努めている。

CDは、野平一郎・林俊昭両氏共演のベートーヴェン「大公」、またデュオ・プリマでもコロムビアより「カスタ・ディーヴァ〜清らかな女神」でCDデビューし、実力とエンタテインメント性を兼ね備えた美貌のヴァイオリン・デュオとして各界からの注目を集めている。

佐々木京子 (ピアノ)

SASAKI Kyoko

桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学を卒業後、同大学附属ディプロマコース修了。在学中に、ジャン・フルネ指揮・桐朋学園オーケストラと共演。その後、ブリュッセル王立音楽院に留学、ピアノ科最高課程を首席で修了、またパリ国立高等音楽院第3課程(大学院)を修了した。第10回チャイコフスキー国際コンクールにて、最優秀伴奏者賞を受賞。第4回日本室内楽コンクールに入賞。1999年、マリア・カナルス国際音楽コンクールのデュオ部門において第3位入賞。2000年5月にスペインで行われたグアダモラ国際室内楽コンクールでは、第1位を受賞した。第2回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール、長野アスペン音楽祭、いしかわミュージックアカデミーなど多くの音楽祭で公式ピアニストを務めている。

また、NHK・FM、RSR(ラジオ・スイス・ロマン)にも出演する。近年はオランダ各地で5年連続の演奏会や、ベルギー、スペイン、フランスでのコンサートなど、ヨーロッパにおいても活躍している。2002年12月、文化庁助成日本演奏連盟主催によるピアノリサイタルを、東京文化会館にて開催。

これまでにピアノを加納優子、池本純子、廻由美子、藤井一興、ドミニク・コルニル、ニコル・アンリオ・シュヴァイツァー各氏に、室内楽を野平一郎、クリスチャン・イヴァルディ各氏に師事している他、ヨーロッパ各地の国際音楽アカデミーのマスタークラスなどで研鑽を積む。桐朋学園大学嘱託演奏員。

★2004年1月31日(土) 19:00~
磯絵里子+佐々木京子 ワークショップ
参加をご希望の方は、事前にカラーレまでお問い合わせ下さい。 ☎0765-57-1201

Chapter
17

2004
3/14
日

■開場
13:30

■開演
14:00

地球の鼓動、
ガイアのリズム

加藤 訓子 (パーカッション)

KATOH Kuniko

幼少の頃よりピアノをはじめ音楽を続ける中、13歳でマリンバに出会う。その後、世界的マリンビスト安倍圭子氏に師事するため、桐朋学園音楽部打楽器科に入学、打楽器全般に本格的に取り組み始める。

在学中にはソリストとして同大学オーケストラ(秋山和慶指揮・三善晃「マリンバ協奏曲」)と共演、1989年第7回日本管打楽器コンクールでは第2位を受賞する。その後、同大学研究科に籍を置きながら単独渡欧し、ロッテルダムコンセルバトリウムにてロバート・ヴァン・サイス氏に師事、この時期にアーティストとしての経験と幅を広げる。同時に同校をクムラウド称号を授与され首席にて卒業。歴代卒業生の中、打楽器奏者としては初めてこの荣誉ある称号を授かる。

1995年にはアメリカで開催された世界初のマリンバコンクール(第1回リー・ハワード・スティープスマリンバコンクール)にて準優勝、1994年ドイツダルムシュタット国際現代音楽祭にてクラニヒシュタイン賞を受賞するなど受賞歴も華々しい。

その後もヨーロッパ、日本を中心に活動し、1999年には待望のソロCD「To the Earth」がリ

リースされる。米国でのPASICには2000年、2001年と連続出演し、世界35人のマリンビストにも選ばれている。アダムス社(蘭)、パール楽器(日・米・欧)との契約インターナショナル・アーティストでもある。

現在、米国在住。

★2004年3月13日(土) 19:00~
加藤訓子 ワークショップ
参加をご希望の方は、事前にカラーレまでお問い合わせ下さい。 ☎0765-57-1201